

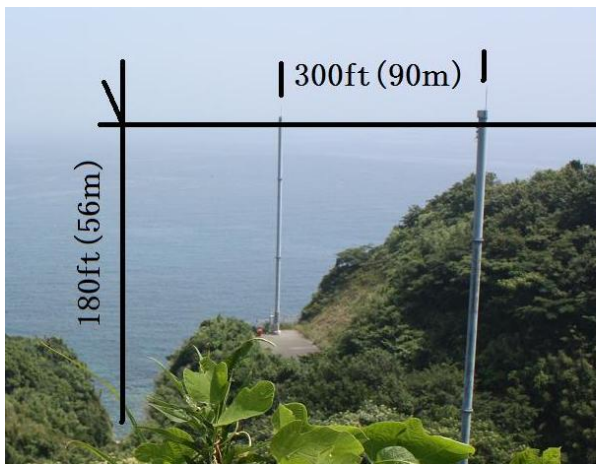


日乗連 AGE 委員会、長崎県の対馬空港視察報告

対馬空港は、長崎県対馬市にある地方管理空港で「対馬やまねこ空港」の愛称があります。標高 97m の白連江山の山頂を切り開いて建設され、長崎県内初の山岳空港となりました。滑走路は対馬中央部の上島と下島の間地峡部を横断するように建設されています。

①施設・鳥獣対策

- RWY32末端の北側にある窪地に残土を盛ったことにより、吹き下ろしが緩和されたように感じるという乗員の感想を伝え、ぜひ続けていただき可能であれば末端延長上まで盛り土して下さるよう要望しました。空港管理者からは、平成26年まで埋め立ては続くが、公共工事が激減して残土が少なくなっており、どこまで出来るかは未知数、また盛土をRWY32末端延長上へ行う予定はないとのことでした。
- RWY32のFinal approach course直下に定置網があり、魚を狙ってトビが舞っていることが多い。
- 鳥類はトビが多く、猟友会で年間500羽を越える数を駆除している。
- 予算の関係上、草刈りは年3回から2回に減った。1回につき2週間かかる。
- 救難訓練は1年に1度行っている。滑走路での事故を想定し、実際の航空機は使用していない。



RWY32 の切り立った崖



RWY32 東側の谷を埋める工事

②安全、効率のいい運航に向けて

- 早朝の福岡発対馬行きのShow up時刻である6時50分にはOfficialな気象通報式がなく、現地Dispatchが観測したものを参照している現状です。気象官の出勤は午前7時であり限界があるものの、天候が悪い時には7時10分観測からOfficialな気象通報式を出して貰っています。必要に応じてカンパニーを通じリクエストすることのも可能です。
- 南から霧が入ってくる際は、霧の速度を勘案し情報官側からRWY14側のApproachを勧めています。パイロットはストレイトインRWY32への直線進入を行うことが多く、結果、Missed Approachを行い再度RWY14に回った時には霧で降りられないことがあります。情報官の意見を是非参考に見てみてください。
- Lighting Facilityの輝度は情報官の早見表によって選択しています。早見表はDay/Twilight/Nightのそれぞれ基準となるCeilingとVISによって、High/Medium/Lowの3段階に分かれています。輝度が合わない場合、どんどんリクエストして欲しいとのこと。年末アンケートに挙げられていたNightのAGLが眩しいという件については、視程良好時には輝度Lowでこれ以上暗くできないとのことでした。それでも眩しい場合には消灯しかないそうです。これに関しても、積極的なリクエストをお願いします。
- Notamなどによく出ています180度旋回ですが、Sharp Turnは出来るだけ避けて欲しいとお願いがありました。穏やかに旋回することでGroovingの剥がれ防止にご協力ください。安全な範囲でご協力をお願いします。

日乗連 AGE 委員会は、今後も現場からの生の声をもとに積極的に活動を行っていきます！